

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成24年11月1日(木) 4校時
児 童 1年2組 男13名 女16名 計29名
指導者 高橋 恵実

研究課題

言葉を大切にし、学ぶ楽しさを実感できる授業

研究課題について(設定理由)

1年生の子どもたちは、常にいろいろなことに興味をもち、前向きに取り組んでいる。学習の入門期である1年生にとって、自分の素直な感情を表現しながら意欲をもって学ぶことは重要なことだと考える。また、知恵を出し合い学びを深めていくことも大切なことだと考える。

楽しさにもいろいろあると思うが、教材のおもしろさ、友達の新しい考えを知ることの喜び、友達と話し合う中で、新しい考えを発見することの驚きなどを味わうことで、学ぶことの楽しさを実感すると思う。そのたくさんの楽しさを授業の中で大切にし、子どもたち自身もお互いの楽しさを大切にできるように育てていきたい。

また、たくさんの言葉と出会い、それらを用いて自分の考えや思いを表現できるように育てていきたい。この2点から、この研究課題を設定した。

- 1 単元名 くらべてよもう
教材名 「じどう車くらべ」(光村図書 1年下)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、平仮名の学習が終わって字に対する関心が高まっていることもあり、読書タイムや登校後の空き時間に進んで本を読むなど、本と積極的にかかわろうとする児童が多い。また、読み聞かせの際は、集中して静かに話を聞く態度も多く見られると同時に、絵本や物語だけでなく、図鑑にも興味をもっている児童が多い。図鑑の写真を見て、新たな知識を自分なりに得ているという児童も少なくない。

子どもたちが入学して初めて出合った説明文は、「くちばし」である。ここでは、「問い」の文と「答え」の文があることを見付け、説明文の基本的な形を学んだ。また、その基本的な説明文の形を用いて、自分の好きな鳥のくちばしについて説明する文を書くという経験もした。この活動により、相手に説明するには、分かりやすく整理された文の形があるということを実感している。同じく説明文の「みいつけた」では、「問い+答え+答え+答え」で構成された説明文の形を学んだ。

そこで、本単元では、教材文の中で読み取った文章のしくみを使い、自分の言葉で表現することを通して、子どもたちの読みの力を「読む」「書く」の両面から育てていきたいと考える。そのために、文章のしくみを理解し、自分の力でそのしくみを見付けることができるようにしていきたい。合わせて、その文章構成を用いて、自分の好きな自動車の説明文を書くことができる力もつけていきたい。

(2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、新学習指導要領第1学年及び2学年の「B 書くこと」の内容にある「イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」、 「C 読むこと」の内容にある「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」である。

本教材は、子どもたちが興味・関心をもつものの一つである乗り物を取り上げた説明文である。登下校の際にいろいろな種類の自動車を目にしていたり、各家庭に自動車があったりと、子どもたちの生活の中でも身近な存在である「自動車」を取り上げること、また自動車は、子どもたちの多くが小さい頃からおもちゃとして遊んだり、絵本に登場したりしていて、子どもたちの生活に密着したものとなっていることから、子どもたちが興味をもち、楽しみながら、説明文の学習を進めていくことができると思う。文章は、自動車が「しごと」をするための「つくり」について述べられている。この「しごと」と「つくり」という二つの観点をつなぐ「そのために」という接続語が繰り返し使われている。三つの自動車を同じ順序で、同じ接続語を用いて説明することで、説明文の構成や文型もとらえやすい教材だと考える。

(3) 指導観

本単元では、自動車図鑑を作り、発表会をするという言語活動を行う。

第一次では、教材文を読み、単元の最後には自動車図鑑を作るという学習の見通しをもつ。その際、図鑑とは、「絵」と「その絵を説明する文章」で構成されていること、自分の好きな自動車を選んで図鑑を作ることを確認する。同時に、教室内に自動車に関する本を置いて並行読書をさせていくようにする。

第二次では、ワークシートを用いて、説明文の基本的な文型を定着できるようにする。この説明文の文型である「しごと」と「つくり」は、図鑑を作る際の「絵を説明する文章」の書き方となるので、何度もくり返すことで定着を図っていくようにする。

第三次では、提示された自動車から自分の好きなものを選んで、自動車図鑑を作り、発表会をする。自動車図鑑作りは、自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を文型に合わせて、自分の力で再構成する作業である。「しごと」を表す言葉や「つくり」を表す言葉を考えて適切に表現する力を高めるようにする。

これらの活動の中で、説明文の基本的な文型を定着させるための手立てとして、スモールステップを設定する。「じどう車はかせへの道」として、子どもたちが段階を追って基本的な文型で説明する力をつけていけるように、ステップ1から5までを設け、意欲的に学習に取り組めるようにする。そうすることによって、子どもたちが分かりやすい説明のしかたを楽しみながら学び、表現できると考える。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○いろいろな乗り物について知るために、乗り物の仕組みを説明した本や文章を選んで読もうとする。

(2) 書く能力

◎教材文の文型にならない、自動車の「しごと」と「つくり」を関連させて書くことができる。

(書 イ)

(3) 読む能力

◎自動車の「しごと」と「つくり」が書かれていることを理解しながら、内容の大体を読むことができる。

(読 イ)

○文章の中から必要な部分を適切に書き抜くことができる。

(読 エ)

○自動車について調べるために、本や文章を選んで読むことができる。

(読 カ)

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。

(伝ウ・【ア】)

4 指導計画

(「読むこと」6時間 「書くこと」6時間)

次	時	学 習 内 容
一	1	・教材文を読んで、自動車図鑑を書くという学習の見通しをもつこと。 ・新出漢字・カタカナの練習をすること。
二	2	・文章全体から「問い」の文と「答え」の文を見付け、構成をつかむこと。
	3	・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を確認し、図鑑としてまとめること。
	4	・トラックの「しごと」と「つくり」を確認し、図鑑としてまとめること。
	5	・クレーン車の「しごと」と「つくり」を確認し、図鑑としてまとめること。
	6	・はしご車の「しごと」と「つくり」を確認し、図鑑としてまとめること。
本時		
三	7	・好きな自動車を選んで「しごと」と「つくり」を読み取ること。
	8	・自動車図鑑の下書きをすること。
	9	・自動車図鑑の下書きを清書すること。
	10	
	11	
	12	・自動車図鑑の発表会をし、感想を書くこと。

5 本時の指導

(1) 目標

- ・はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、教材文の文型にならって、はしご車の説明文を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけ、ずかんをかこう。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時まではバスや乗用車、トラック、クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめ、図鑑としてまとめたことを想起する。 ・本時は、はしご車の「しごと」と「つくり」を見付け、図鑑としてまとめていくことを確認する。
展開 35分	3 はしご車の「しごと」を考え、図鑑で確認する。 ① 教科書の挿絵を見て、はしご車の「しごと」について話し合う。 ② 図鑑を提示し、はしご車の「しごと」を確認する。 ・高いところにいる人を助ける。 4 教科書の挿絵を見て、「しごと」をするためにどんな「つくり」になっているかを出し合う。 ・長いはしごがある。 ・はしごに階段がついている。 ・はしごの先に人を乗せるところがついている。 5 はしご車の説明文を書く。 6 書いた説明文を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が混乱しないように、教科書の挿絵にあるポンプ車は見せず、はしご車の挿絵だけを提示する。 ・はしご車は、火事の時に働く自動車であることを確認してから、はしご車の「しごと」について話し合うようにする。 ・児童が挿絵から見付けた「しごと」を、短い言葉で黒板に整理する。 ・はしご車の資料を読んで、児童が考えた「しごと」がはしご車に適しているかを確認する。 ・「しごと」に合った「つくり」はどれかを考えさせ、「そのために」という言葉でつなぐことができる「つくり」の文にしぼって整理していく。 ・既習の文型に合わせて書くことが難しい児童には、前時までに学習した教科書の文型をもう一度確認することで、はしご車でもこの文型を用いてまとめられるようにする。 ・「しごと」と「つくり」が対応するように気を付けながら書くよう机間指導していく。 ・はしご車の文を書き終わったら、絵を描いて図鑑としてまとめられるようにする。 <p>◇はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、教材文の文型にならって、はしご車の説明文を書くことができたか。 (ワークシート・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が書いた説明文を聞き、よいところを発表できるようにする。
終末 5分	7 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを用いて、自己評価する。